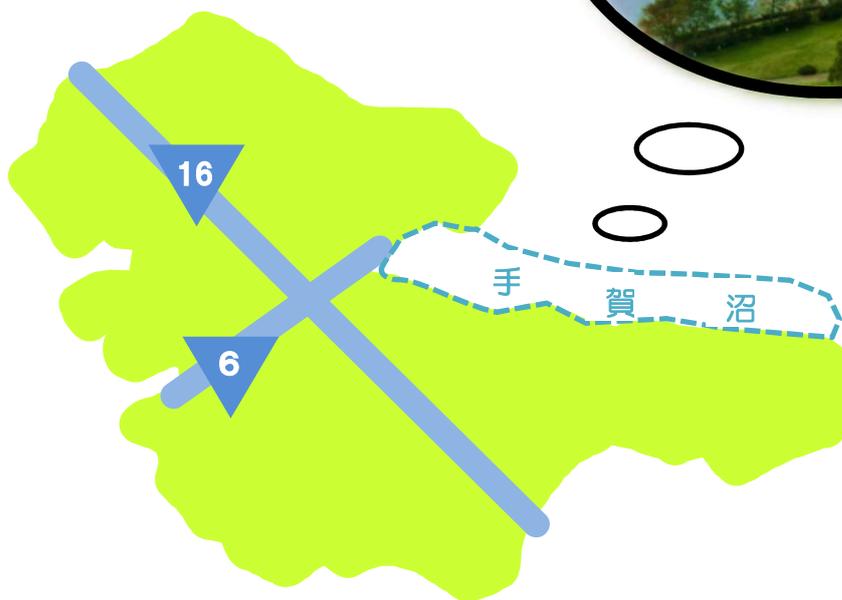


平成31年度

柏市の わかりやすい 予算



予算の「仕組み」と「主な事業」

平成23年度から、予算の概要をわかりやすく解説した「柏市のわかりやすい予算」を発行しています。市役所が法律に沿って作成する予算書は、一般的に聞きなれない用語や数字が整然と並んでいてわかりにくい作りとなっているため、この冊子では、表やグラフを交えながら、わかりやすくお知らせすることを心掛けています。

予算とはお預かりした税金をどのように使うかを決めることです。市が行う事業はたくさんありますが、限られた財源の中で、必要性や優先順位を考えながら事業を選択しています。

この「わかりやすい予算」を通して、どんな事業が行われているか、どれくらいの費用がかかっているかを知っていただき、今まで以上に市政に関心をもっていただきたいと思います。その上で、「この事業は、こんなに費用がかかっているなら問題だ」、「この事業の費用を、あの事業に回したほうが全体としては望ましい」などの具体的で建設的な議論につながることを期待しています。

平成31年3月
柏市長 秋山 浩保

— 目次 —

基礎知識～予算とは～	1
歳入	4
歳出	6
平成31年度予算編成のポイント	9
平成31年度の主な事業	10
資料集	17

詳しくは市ホームページで見ることができます。

<http://www.city.kashiwa.lg.jp/soshiki/040100/p048198.html>

基礎知識 ～予算とは～



予算って、何ですか？

予算とは、1年間の収入と支出を見積もることです。

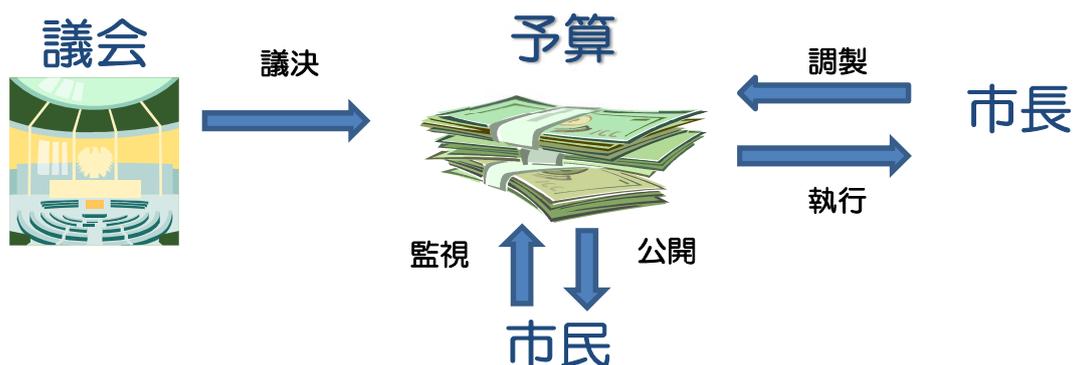
新しい年度が始まる前に、1年間（4月から翌年の3月まで）にどのくらいの収入があるか、その収入をもとにして、どのような行政サービスを行うのかを計画し、その費用を見積もります。これらの内容をまとめたものが予算書です。柏市に入ってくるお金のことを「歳入」、使うお金のことを「歳出」と呼んでいます。



予算は、誰が決めるの？

市長が予算案を作り、市議会へ提出します。そして、市議会の審議と議決によって、予算が成立します。

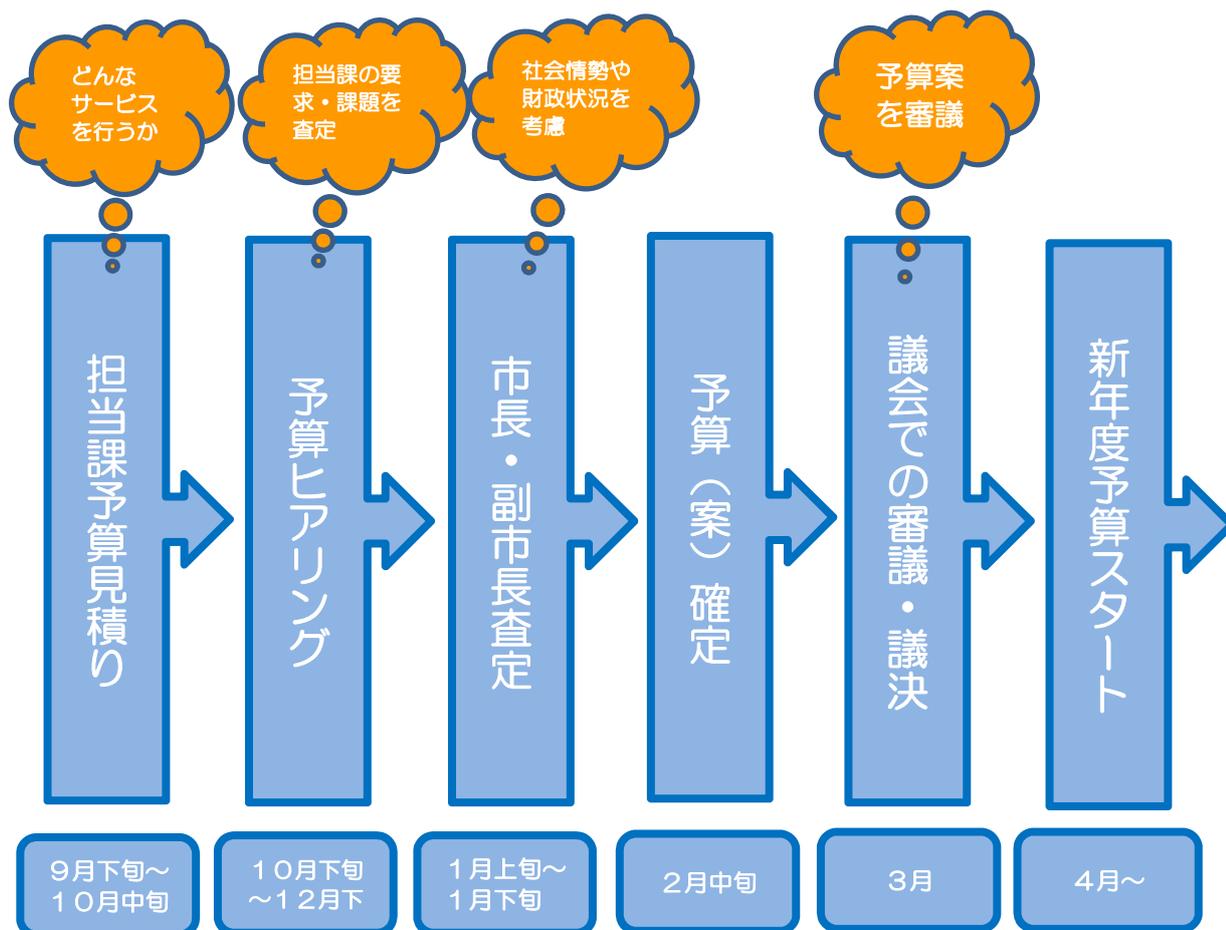
市長は、各担当部署の案を自分の考えにそって予算案としてまとめ、市議会に提案します。市民を代表する市議会議員は、提案された予算案をいろいろな面から審議した上で、市議会の議決により予算を決めます。





予算ってどうやって決まるの？

新年度の予算が決まるまでには、半年以上かかります。担当課は事業の課題を解決したり、新しい事業を実施するための予算を要望します。これを査定担当部局は、社会情勢や財政状況などを考慮し、実際にどのくらいのお金が必要なのか検討します。お金が足りない場合は優先順位をつけることも重要となります。



一度決めた予算は、変えられないの？

変えられます。補正予算といって、6月、9月、12月、3月の議会で変えることができます。

社会情勢の変化等により当初見積もった経費に見直しが必要となった場合は、変更する予算案をつくり当初予算と同じように市議会へ提出します。

例えば… 平成31年3月には小中学校の施設整備事業やこんぶくろ池公園の用地購入、基金の積立てなどで約50億円を増額しました。



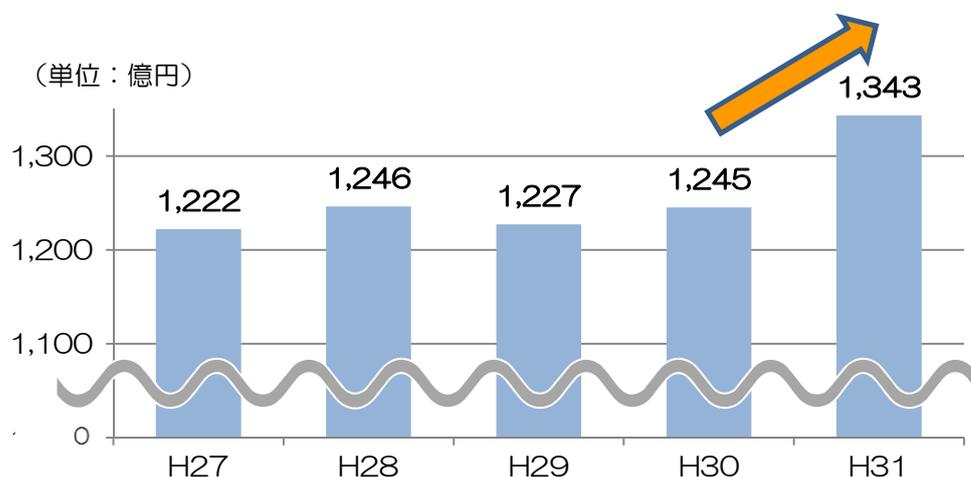
各会計の予算規模は、どのくらいあるの？

平成31年度は、次の金額を計上しています。

区分		予算額	前年度比 (増減額)	事業内容
一般会計		1,342億6,000万円	98億円	
特別 会計	国民健康保険事業	375億5,100万円	△12億2,600万円	柏市の国民健康保険に加入している方の医療費を給付
	公設市場事業	7億1,500万円	△2,500万円	公設市場の管理運営
	介護老人保健施設事業	1億8,700万円	△800万円	介護老人保健施設「はみんぐ」の管理運営
	介護保険事業	280億3,200万円	17億4,600万円	要介護・要支援者の方への保険給付
	北柏駅北口土地区画整理事業	11億7,000万円	△1億6,200万円	北柏駅北口の土地区画整理事業を実施
	学校給食センター事業	4億5,800万円	△1,200万円	旧沼南地域の小中学校（11校）に給食を提供
	母子父子寡婦福祉資金貸付事業	4,200万円	△600万円	母子父子寡婦の方への貸付け
	後期高齢者医療事業	55億7,000万円	4億2,000万円	75歳以上の方の医療費を給付
企業 会計	病院事業	5億5,094万円	△4,889万円	市立柏病院の管理運営
	水道事業	135億9,100万円	11億6,480万円	水道水の供給及び水源・水道管の整備・維持管理
	下水道事業	155億7,200万円	△15億5,900万円	雨水・汚水管の整備及び維持管理
計		2,376億9,894万円	100億8,391万円	

■一般会計予算額の推移

平成31年度予算は、社会保障関係経費の増加や幼児教育無償化への対応、公共施設の長寿命化、柏北部地域での小学校の新設に向けた用地購入などを実施するため、当初予算は増加しました。



歳入



一般会計には、どのような歳入があるの？

一般会計の歳入には、市税や国・県からの補助金、銀行からの借入れや施設の使用料などがあります。

■一般会計歳入予算

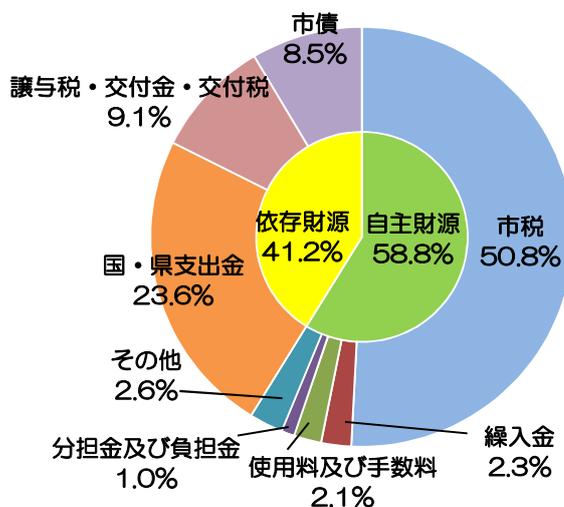
項目	説明	金額	前年度比 (増減額)
自主財源	市が自主的に調達できる収入のことです。	788億9,801万円	18億2,894万円
市税	皆さまが柏市に納めた税金です。	681億6,900万円	18億900万円
分担金及び負担金	事業にかかる経費の一部を受益の程度に応じて利用者に負担していただいているお金です。	13億802万円	△7,002万円
使用料及び手数料	施設の利用や証明書を発行する際にいただいているお金です。	27億7,058万円	△4億520万円
繰入金	各種基金（貯金・運用資金）を取り崩して使うお金です。	30億5,669万円	4億2,269万円
その他	寄附金、不動産売り払いなどの財産収入、諸収入、前年度からの繰越金などです。	35億9,372万円	7,247万円
依存財源	国や県から交付されたり、割り当てられる財源や市債（借金）のことです。	553億6,199万円	79億7,106万円
譲与税・交付金・交付税	皆さまが国に納めた税金の一部です。使いみちは決められていません。	123億548万円	13億7,048万円
国・県支出金	皆さまが国等に納めた税金の一部です。使いみちは決められています。	316億4,061万円	26億7,458万円
市債	銀行などからの借入れ（借金）です。	114億1,590万円	39億2,600万円
計		1,342億6,000万円	98億円



ここがポイント

約6割が自主財源

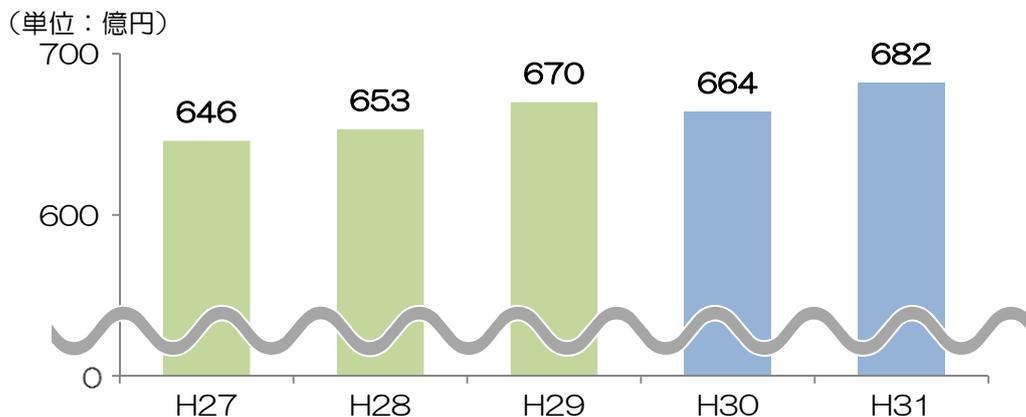
自主財源が多いほど、財政が安定し、自主的な事業をより多く行うことができます。自主財源の多くは市税です。このため、定住促進や企業誘致を推進し、経済の活性化に取り組む必要があります。





柏市の税収は、増えているの？

人口増等の影響により個人市民税や固定資産税などの増収を見込み、市税収入は昨年度と比較して増となっています。



※平成29年度までは決算額，平成30年度からは予算額の数値です。



ここがポイント

- 2つの要因**
- ① 個人市民税：人口増等により9億5,500万円の増
 - ② 固定資産税：家屋の新築などにより5億300万円の増



柏市に入る税収は、何種類あるの？

柏市に直接入る税（市税）は、7種類あります。

■市税の種類

項目	説明	金額	前年度比 (増減額)
個人市民税	市民の方が給与などの所得に応じて納める税です。	290億600万円	9億5,500万円
法人市民税	柏市内の会社が収益などに応じて納める税です。	44億4,100万円	4億5,400万円
固定資産税	土地や家屋などを所有している方が納める税です。	253億8,900万円	5億300万円
軽自動車税	軽自動車などを持っている方が納める税です。	5億2,200万円	4,200万円
市たばこ税	たばこを買った方が納める税です。	20億5,500万円	△1億9,300万円
事業所税	市内の一定規模以上の会社が納める税です。	14億4,300万円	△3,400万円
都市計画税	市街化区域に土地や建物を持っている方が納める税です。	53億1,300万円	8,200万円
計		681億6,900万円	18億900万円

歳出

【目的別】



どんな分野（目的）の歳出があるの？

民生、土木、教育などの分野に分けて支出します。

■一般会計歳出予算（目的別）

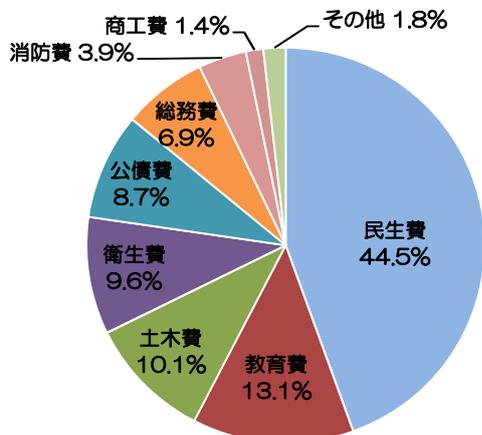
項目	説明	金額	前年度比 (増減額)
議会費	議員の報酬や議会事務局職員の人件費、議会運営などに使う経費です。	6億7,722万円	△1,619万円
総務費	庁舎などの管理、財政管理、市税の賦課徴収、戸籍など市役所の全般的な仕事に使う経費です。	92億9,188万円	7億9,053万円
民生費	児童、高齢者、心身障害者などの支援や生活保護などに使う経費です。	597億211万円	37億6,615万円
衛生費	医療、公衆衛生、精神衛生、ごみなどの一般廃棄物の収集処理などに使う経費です。	129億3,378万円	4億8,854万円
労働費	労働者の福祉向上や就労支援などに使う経費です。	6,610万円	△437万円
農林水産業費	農林漁業の振興、技術の普及などに使う経費です。	12億9,340万円	△8億6,573万円
商工費	商工業の振興、中小企業の育成、企業誘致などに使う経費です。	19億3,369万円	1億4,875万円
土木費	道路、河川、住宅、公園などの公共施設の整備や維持管理に使う経費です。	135億4,682万円	1億6,011万円
消防費	火災、風水害、地震等の災害から市民を守るための経費です。	52億88万円	3,153万円
教育費	学校の建設・管理、生涯学習、文化財保護など教育行政に使う経費です。	176億121万円	47億4,957万円
公債費	事業を行うために国や金融機関から借り入れた市債（借金）の返済金です。	117億1,291万円	5億5,118万円
諸支出金	他の支出科目に含まれない経費をまとめたものです。	0	△7万円
予備費	緊急に支出を必要とする場合に備えて用意しているお金です。	3億円	0
計		1,342億6,000万円	98億円



ここがポイント

民生費は社会保障関係経費の増加や幼児教育の無償化に対応するため、前年度より増額となり、全体の4割以上を占めています。

また、教育費では教育福社会館や小学校校舎等の長寿命化、さらに柏北部地域での小学校の新設に向けた用地購入などを実施するため、増額となっています。



【性質別】



どんな性質の経費に分類できるの？

歳出は、人件費などの性質別に分けると、違った観点から特徴を見ることができます。

■一般会計歳出予算（性質別）

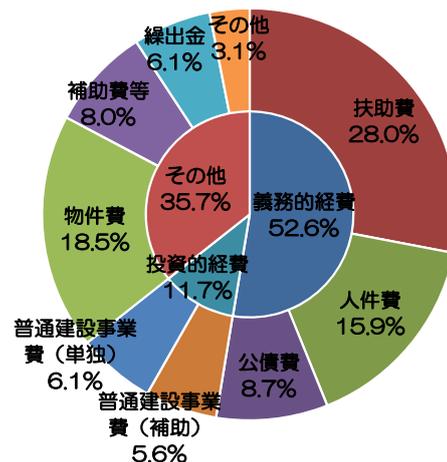
項目	説明	金額	前年度比 (増減額)
義務的経費	毎年必ず支出しなければならない経費です。	706億3,063万円	33億6,830万円
人件費	職員の給料などに使う経費です。	213億8,549万円	△1億8,836万円
扶助費	生活保護費、障害者支援費などの福祉や医療に使う経費です。	375億3,223万円	30億528万円
公債費	事業を行うために国や金融機関から借り入れた市債（借金）の返済金です。	117億1,291万円	5億5,138万円
投資的経費	道路、学校などの建設や大規模改修など都市基盤の整備にかかる費用です。	157億6,358万円	36億1,002万円
普通建設事業費（補助）	普通建設事業のうち国からの補助があるものです。	75億4,320万円	△2億6,006万円
普通建設事業費（単独）	普通建設事業のうち国からの補助がないものです。	82億2,038万円	38億7,008万円
その他の経費		478億6,579万円	28億2,168万円
物件費	光熱水費、消耗品費、通信運搬費、委託料などです。	247億6,068万円	18億3,137万円
維持補修費	施設の維持管理に使う経費です。	12億6,269万円	412万円
補助費等	一部事務組合に対する負担金などです。	106億8,111万円	7億5,494万円
積立金	各種基金（貯金・運用資金）への積立金です。	1億3,259万円	2,427万円
投資・出資金	北千葉広域水道企業団・病院事業会計・下水道事業会計に対する出資金です。	11億7,850万円	△1億9,798万円
貸付金	中小企業融資資金預託金など市が一時的に貸し出す経費です。	13億6,243万円	1,500万円
繰出金	特別会計の収入を補うための経費です。	81億8,779万円	3億8,996万円
予備費	緊急に支出を必要とする場合に備えて用意しているお金です。	3億円	0
計		1,342億6,000万円	98億円



ここがポイント

必ず支出しなければならない義務的経費が、5割を超えています。

平成31年度は、普通建設事業費約15億円について、平成31年度補正予算への前倒しを行い、一体的に編成しています。





市民1人当たり，いくら使われているの？

市民1人当たり，約32万円になります。

(平成31年3月1日現在の常住人口：425,396人)

■一般会計歳入予算

項目	金額(円)
市税	160,248

■一般会計歳出予算(目的別)

項目	金額(円)
議会費	1,592
総務費	21,843
民生費	140,345
衛生費	30,404
労働費	155
農林水産業費	3,041
商工費	4,546
土木費	31,845
消防費	12,226
教育費	41,376
公債費	27,534
諸支出金	0
予備費	705
計	315,612

■一般会計歳出予算(性質別)

項目	金額(円)
義務的経費	166,035
人件費	50,272
扶助費	88,229
公債費	27,534
投資的経費	37,056
普通建設事業費(補助)	17,732
普通建設事業費(単独)	19,324
その他の経費	112,521
物件費	58,206
維持補修費	2,968
補助費等	25,109
積立金	312
投資・出資金	2,770
貸付金	3,203
繰出金	19,248
予備費	705
計	315,612

★ここがポイント

柏市に納めた税金約16万円に，国・県の補助金などを加えた金額を財源として，市民1人当たり約32万円の事業が行われます。

平成31年度予算編成のポイント

柏市が特に力を入れること

第五次総合計画の3つの重点目標の施策について優先的に取り組みます。

【充実した教育が実感でき、子どもを安心して産み育てられるまち】

- ◆学びづくりフロンティアプロジェクトを推進
- ◆国際理解教育に関する事業の推進 ⇒外国語活動支援員13人増員
- ◆不登校児童生徒の支援を推進 ⇒スクールソーシャルワーカー3人増員
- ◆保護者の多様なニーズに対応した新たな乳幼児一時預かり事業を実施
- ◆私立認可保育園・認定こども園の整備 ⇒5園整備

【健康寿命を延ばし、いつまでもいきいきと暮らせるまち】

- ◆介護予防事業⇒フレイル予防の推進
- ◆骨髄移植ドナー等への支援 ⇒新たな助成制度を実施
- ◆障害のある方への支援事業 ⇒相談受付等の機能強化

【地域の魅力や特性を活かし、人が集う活力あふれるまち】

- ◆手賀沼アグリビジネスパーク事業の推進 ⇒道の駅しょうなんの再整備
- ◆ラグビーW杯に参加するニュージーランド代表との交流イベント等
- ◆Wi-Fi環境の整備

総合計画に掲げる施策

第五次総合計画では、次の分野毎に各施策を位置づけています。



新規

私立認可保育所等の整備		P271		
	担当課	保育整備課		
	事業費	13億7,369万円		
	財源	補助	11億7,111万円	
		借金		
市		2億258万円		
待機児童の解消のため、私立認可保育園・認定こども園（計5園）を整備します。				

幼児教育の無償化		P268・272・499		
	担当課	保育運営課／保育整備課		
	事業費	7億2,320万円		
	財源	補助	7億2,320万円	
		借金		
市				
3歳から5歳までの全ての子ども及び0歳から2歳までの住民税非課税世帯の子どもについて、幼稚園、保育所、認定こども園等の費用を無償化します。				

子育て世代包括支援センター		P329		
	担当課	地域保健課		
	事業費	4,173万円		
	財源	補助	2,023万円	
		借金		
市		2,150万円		
妊娠から子育てに関する情報提供・相談体制の充実のため、総合相談窓口を設置しています。				

産後ケア		P253		
	担当課	こども福祉課		
	事業費	922万円		
	財源	補助	461万円	
		借金		
市		461万円		
出産後間もない母子に対して、心身のケアや育児のサポートを実施します。				

子育て世代の心身をケアし、児童虐待のない社会へ！

子どもを安心して産み育てられるまちを作ります！

拡大

新規

子育て支援アドバイザーの配置		P263		
	担当課	子育て支援課		
	事業費	1,237万円		
	財源	補助	824万円	
		借金		
市		413万円		
身近な場所で子育て相談・助言や情報提供を行うとともに、関係機関との連絡調整などを、はぐはぐひろば若柴でも新規に実施します。				

乳幼児一時預かり事業		P263		
	担当課	子育て支援課		
	事業費	2,248万円		
	財源	補助	374万円	
		借金		
市		1,874万円		
育児疲れ等による保護者の心理的・身体的負担の軽減を目的として、多様なニーズに対応する乳幼児の一時預かり施設を開設します。				

Ⅱ 健康・サポート

(介護会計)
介護予防事業

P685・686

	担当課	地域包括支援課 ／福祉政策課
	事業費	7,529万円
財源	補助	2,512万円
	借金	
	市	5,017万円

各種フレイル予防事業の普及啓発や人材育成等を通じて、地域ぐるみのフレイル予防活動を支援します。

(介護会計)
地域支えあい活動の支援

P681・683～685

拡大

	担当課	地域包括支援課
	事業費	6,000万円
財源	補助	2,927万円
	借金	
	市	3,073万円

地域支えあい推進員の配置や支えあい会議の開催を通して、コミュニティでの支えあい活動の推進を図るとともに、たすけあいサービスや通いの場の運営費等を支援します。

特別養護老人ホーム等の整備

P203

	担当課	高齢者支援課
	事業費	4億7,734万円
財源	補助	4億7,734万円
	借金	
	市	

特別養護老人ホームや認知症対応型グループホームの整備や開設準備をする場合に補助金を交付します。

介護人材の確保

P199

拡大

	担当課	高齢者支援課
	事業費	684万円
財源	補助	390万円
	借金	
	市	294万円

介護人材の確保のため、相談会や就活イベントを開催します。また、新たに介護職員実務者研修の受講料補助を実施します。

骨髄移植ドナー支援事業

P312

新規

	担当課	総務企画課
	事業費	210万円
財源	補助	105万円
	借金	
	市	105万円

骨髄移植ドナー等の負担軽減のため、ドナー等に対して一定額を助成します。

障害者相談支援（機能強化）事業

P244

拡大

	担当課	障害福祉課
	事業費	6,441万円
財源	補助	2,112万円
	借金	
	市	4,329万円

専門の事業所に「地域生活コーディネーター」を配置し、障害のある方への相談支援を行います。また、24時間対応の相談受付等を行う事業所を増設します。

フレイル予防を推進します！

加齢により心身の活力（筋力、認知機能、社会とのつながりなど）が低下した状態を「フレイル」といいます。柏市では、フレイル予防の3つの柱「栄養（食・口腔機能）・運動・社会参加」に着目した介護予防講座や人材育成を行い、身近な地域で気軽にフレイル予防に取り組めるよう推進していきます。

Ⅲ 経済・活力

拡大

柏北部地域のまちづくりの推進		P416		
	担当課	北部整備課		
	事業費	4億336万円		
	財源	補助	200万円	
		借金	2億6,780万円	
市		1億3,356万円		
つくばエクスプレス沿線地域における土地区画整理事業等のまちづくりを進めていきます。				

手賀沼アグリビジネスパーク事業		P361・363		
	担当課	農政課		
	事業費	6億2,261万円		
	財源	補助	9,571万円	
		借金	4億3,600万円	
市		9,090万円		
手賀沼周辺地域の活性化のため、道の駅しょうなんの拡張整備や地域資源の活用などを官民連携で進めていきます。				

新規

プレミアム付商品券事業		P373		
	担当課	商工振興課		
	事業費	1億2,017万円		
	財源	補助	1億2,017万円	
		借金		
市				
【イメージ】前回の商品券（平成27年度発行）				
低所得者・子育て世帯（0～2歳児）を対象にしたプレミアム付商品券の発行に向けた準備を実施します。				

拡大

企業誘致		P371・373		
	担当課	商工振興課		
	事業費	6,186万円		
	財源	補助	2,638万円	
		借金		
市		3,548万円		
ビジネス創出・活用支援事業のほか、企業立地促進事業奨励金、関係団体との連携による展示会への出展、有望企業へのPR活動を実施します。				

Ⅳ 地域のちから

新規

音楽の街かしの創出		P509		
	担当課	文化課		
	事業費	560万円		
	財源	補助		
		借金		
市		560万円		
市民が気軽に音楽に触れ、楽しむことができる機会を増やします。				

ラグビーワールドカップ事前キャンプ関連事業		P147		
	担当課	スポーツ課		
	事業費	3,000万円		
	財源	補助		
		借金		
市		3,000万円		
ラグビーワールドカップ2019™日本大会に向け、柏市で事前キャンプを行うニュージーランドラグビー代表チームとの交流イベント等を実施します。				

V 環境・社会基盤

拡大

都市・防災公園の整備		P431~433		
	担当課	公園緑政課		
	事業費	6億8,138万円		
	財源	補助	2億5,412万円	
		借金	3億20万円	
市		1億2,706万円		
<p>柏北部地区7箇所、高柳地区2箇所に都市公園を計画・整備するほか、（仮称）篠籠田防災公園等の整備を行います。</p>				

拡大

空家等の対策		P437・438		
	担当課	住宅政策課／住環境再生室		
	事業費	728万円		
	財源	補助		
		借金		
市		728万円		
<p>所有者不明空家等に対する財産管理人選任申立を実施するほか、新たな空家利活用制度を構築します。</p>				

バリアフリー道路特定事業		P404		
	担当課	道路保全課		
	事業費	1億3,948万円		
	財源	補助	6,974万円	
		借金	6,270万円	
市		704万円		
<p>駅周辺等を重点整備地区としたバリアフリー経路を整備します。</p>				

都市計画道路の整備		P425・426		
	担当課	道路整備課		
	事業費	3億7,648万円		
	財源	補助	1億5,059万円	
		借金	1億1,080万円	
市		1億1,509万円		
<p>柏市都市計画道路吉野沢高野台線・豊四季宿連寺線・高柳藤ヶ谷新田線・豊四季駅前線・南柏逆井線を整備します。</p>				

乗合旅客自動車の運行		P422		
	担当課	交通政策課		
	事業費	3,530万円		
	財源	補助		
		借金		
市		3,530万円		
<p>予約型相乗りタクシー「カシワニクル」やかしわ乗合ジャンボタクシーを運行します。</p>				

高柳駅自由通路・橋上駅舎の整備		P423		
	担当課	交通政策課		
	事業費	1億3,990万円		
	財源	補助	2,000万円	
		借金	3,600万円	
市		8,390万円		
<p>東武鉄道株式会社と連携して高柳駅に東西自由通路および橋上駅舎を一体的に整備します。平成31年度末に完成する予定です。</p>				

VI 安全・安心

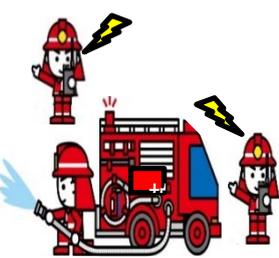
新規

Wi-Fi環境の整備		P131・133・193・209・210・213・214・217・218・221	
	担当課	防災安全課／情報政策課／(沼南)総務課／地域包括支援課／地域支援課	
	事業費	449万円	
	財源	補助	
借金			
市		449万円	
<p>災害時の通信確保のため、ウェルネス柏及び沼南支所、近隣センター（8箇所）にWi-Fiを整備します。</p>			

新規

無人航空機（ドローン）の整備		P444	
	担当課	指揮統制課	
	事業費	233万円	
	財源	補助	
借金		120万円	
市		113万円	
<p>緊急時における防災力の向上のため、無人航空機（ドローン）2機を整備します。</p>			

拡大

通信指令施設の整備		P456	
	担当課	警防課	
	事業費	1,189万円	
	財源	補助	187万円
借金		560万円	
市		442万円	
<p>災害時の情報伝達体制の強化のため、無線機を配備・更新します。</p>			

拡大

風しん対策		P284	
	担当課	健康増進課	
	事業費	8,881万円	
	財源	補助	3,484万円
借金			
市		5,397万円	
<p>風しんの流行を防ぐため、予防接種の機会が少なかった世代の男性に対し、抗体検査と予防接種の費用助成を開始します。</p>			

VII マネジメント

持続可能な行政経営の実現

拡大

市民税関係業務委託		P158	
	担当課	市民税課	
	事業費	4,531万円	
	財源	補助	
借金			
市		4,531万円	
<p>効率的な課税事務の実現のため、市民税関係のシステム入力業務・窓口業務を委託します。</p>			



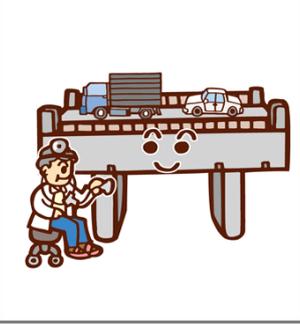
公共施設等の最適化

学校施設の長寿命化対策		P487		
	担当課	学校施設課		
	事業費	3億9,980万円		
	財源	補助	6,820万円	
		借金	2億5,470万円	
市		7,690万円		
モデル校である土小学校校舎の長寿命化改良工事を行います。				

南部近隣センターの改修		P225		
	担当課	地域支援課		
	事業費	2億8,000万円		
	財源	補助		
		借金	2億2,950万円	
市		5,050万円		
近隣センターの改修を今後実施していくにあたり、南部近隣センターをモデル館として改修を行います。				

文化施設の修繕等		P206		
	担当課	地域支援課		
	事業費	4億3,123万円		
	財源	補助		
		借金		
市		4億3,123万円		
アミュゼ柏の改修工事（舞台音響設備、舞台照明設備等）及び沼南近隣センターのトイレ改修の設計等を実施します。				

道路改良		P403		
	担当課	道路保全課		
	事業費	13億2,912万円		
	財源	補助	5億50万円	
		借金	4億9,500万円	
市		3億3,362万円		
道路の老朽化対策として、舗装や路面排水の整備を行います。				

橋梁の長寿命化		P403・404		
	担当課	道路保全課		
	事業費	6億1,360万円		
	財源	補助	3億2,912万円	
		借金	2億1,180万円	
		市	7,268万円	
橋を定期的に点検診断し計画的に維持補修することで、長寿命化を図ります。				

教育福祉会館の耐震改修等		P517		
	担当課	中央公民館		
	事業費	10億1,880万円		
	財源	補助	9,203万円	
		借金	8億3,400万円	
		市	9,277万円	
教育福祉会館について、耐震補強及び老朽化した設備等を改修し、長寿命化を目的とした大規模改修工事を行います。				

公共施設マネジメントに取り組みます！

近隣センターや学校、道路・下水道など、公共施設等の老朽化が進んでいます。今後、対策に多額の費用が見込まれる中、良好な状態で次世代に引き継ぐことは重要な課題です。

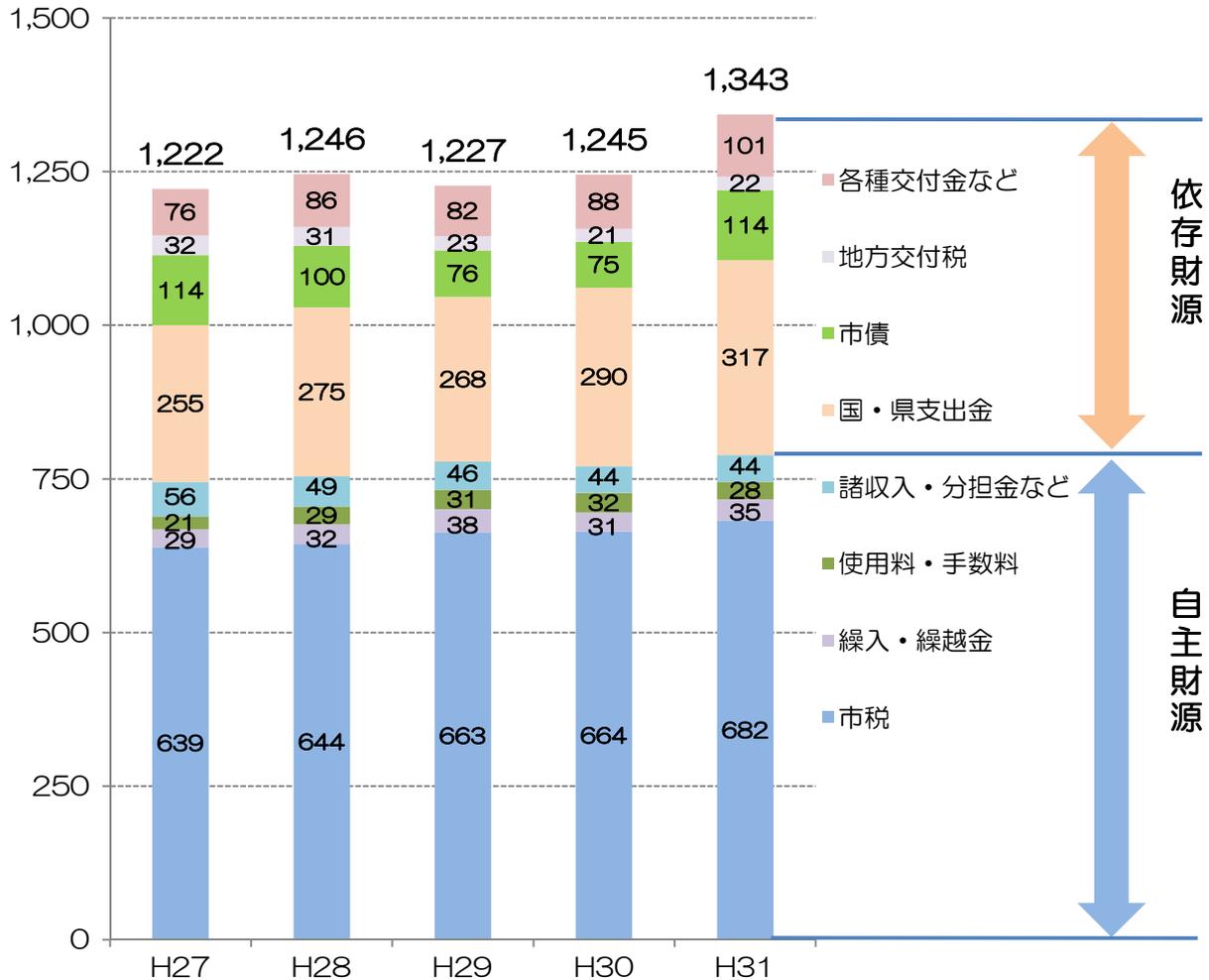
市では、施設機能の見直しや統廃合なども視野に入れながら、長寿命化工事などの計画的な保全を進め、費用の縮減と安全性の確保、市民サービスの維持向上に努めていきます。

資料集

資料① 一般会計歳入の推移（当初予算比）

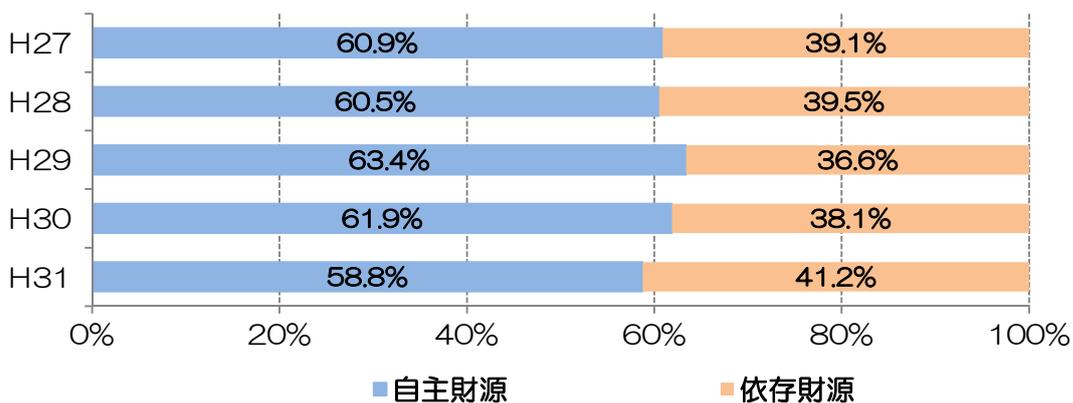
■一般会計 歳入の推移

（単位：億円）



市独自の事業を多く行うことができるよう、「自主財源」を増やす施策に取り組みます。

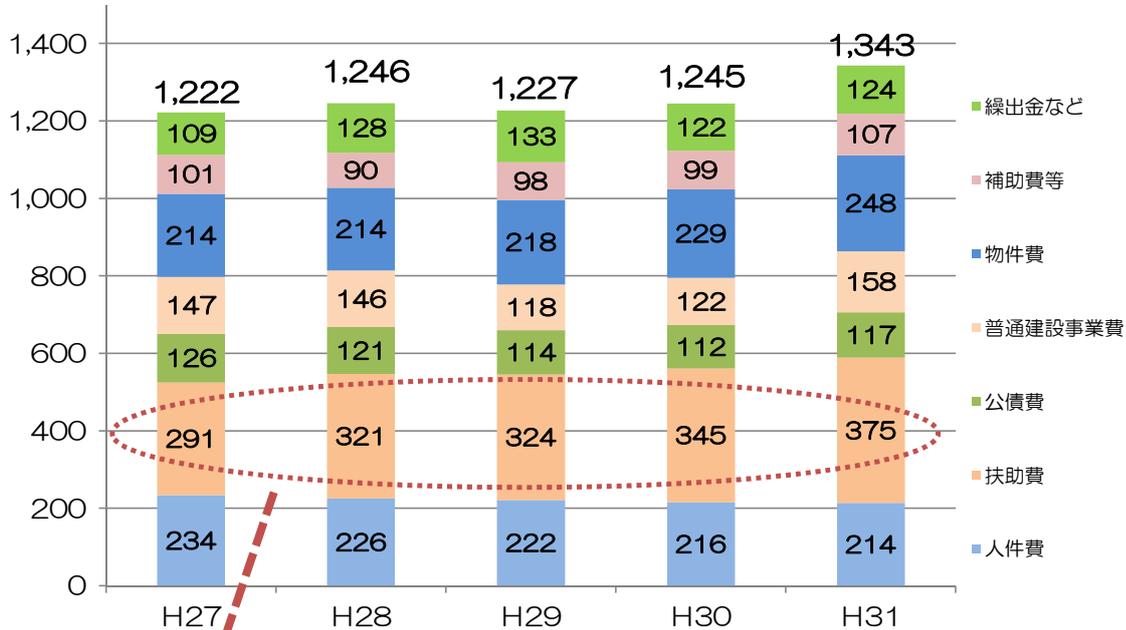
■一般会計 財源の推移



資料② 一般会計歳出と扶助費の推移（当初予算比）

■一般会計 歳出の推移

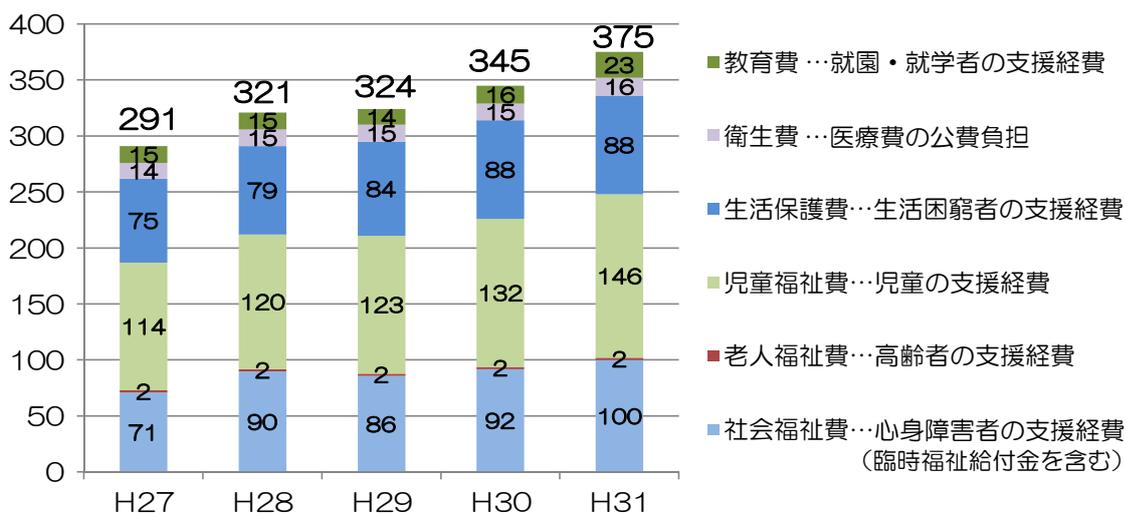
（単位：億円）



少子高齢化の進展などにより扶助費が増加傾向にあります。平成31年度は、社会福祉費が約8億円、児童福祉費が約14億円増えるなどし、全体で約30億円の増となっています。

■扶助費の内訳

（単位：億円）



老人福祉が少ないのは、後期高齢者医療や介護保険などの事業が、別の会計で処理されているためです。

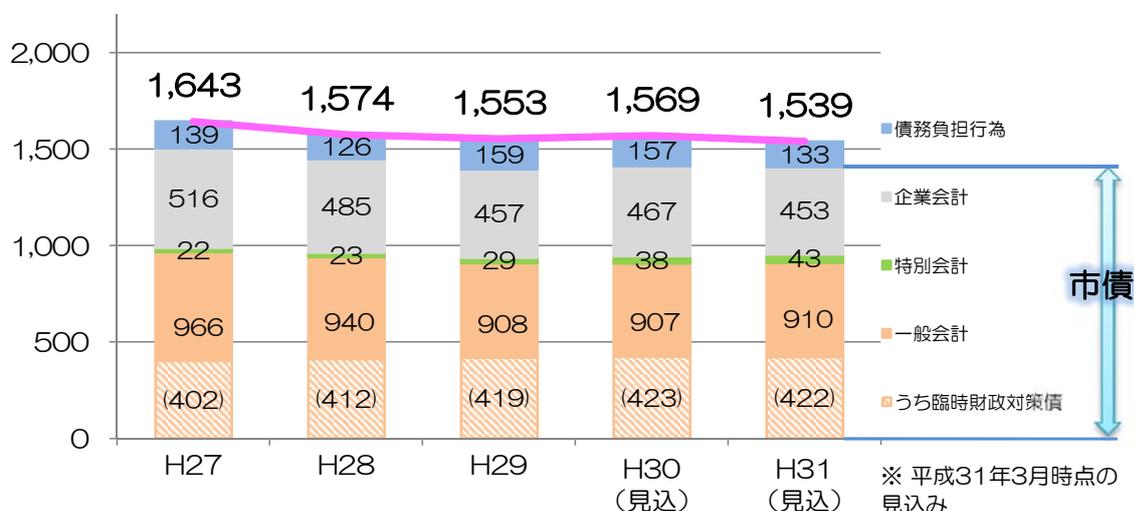
資料③ 柏市の債務（市債など）の残高

市全体の平成31年度末の債務残高は、約1,539億円になる見込みです。そのうち、一般会計・特別会計・企業会計を合わせた市債残高（借金）は約1,406億円で、将来の支払いを約束した債務負担行為は約133億円です（債務負担行為は、主に土地開発公社に先買いを依頼した土地を市が買い戻すための支払いです）。

将来世代に負担を残さないよう「返す以上に借りない」ことを基本に新規の借入れを抑制したほか、土地開発公社からの用地購入を予定しているため、債務残高は前年度比約30億円の減を見込んでいます。

■債務残高の推移

（単位：億円）



どうして借金をするの？

市債（借金）には、「毎年の支出を平均にする役割」と「現在の市民と将来の市民の負担を公平にする役割」があります。

学校や道路などの公共施設の建設には、一時期に多額のお金が必要になります。これをその年度の収入だけで賄ってしまうと、他の事業ができなくなってしまいます。また、公共施設は現在の市民だけでなく、長期間にわたって将来の市民も利用するものであるため、公平にその費用を負担してもらうという意味から市債を活用しています。



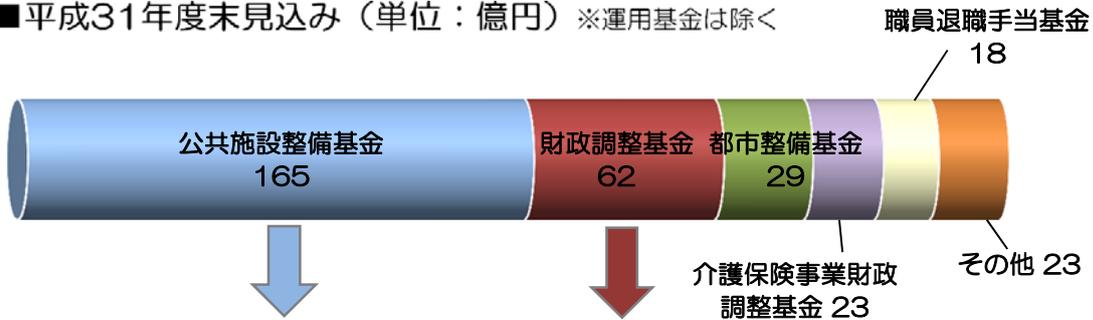
臨時財政対策債とは？

臨時財政対策債は、本来は地方交付税として国から交付されるべきお金を、市が一時的に借金をして立て替えているものです。借金の返済にあたっては、国から分割してお金が交付される仕組みですが、返済するまでは市の債務として計上されます。

資料④ 柏市の基金（貯金）残高

平成31年度末の基金残高は、約320億円になる見込みです。基金は特定の目的達成や財源不足を補うために設けています。柏市の歳入・歳出予算には、その取崩しや積立てが含まれています。

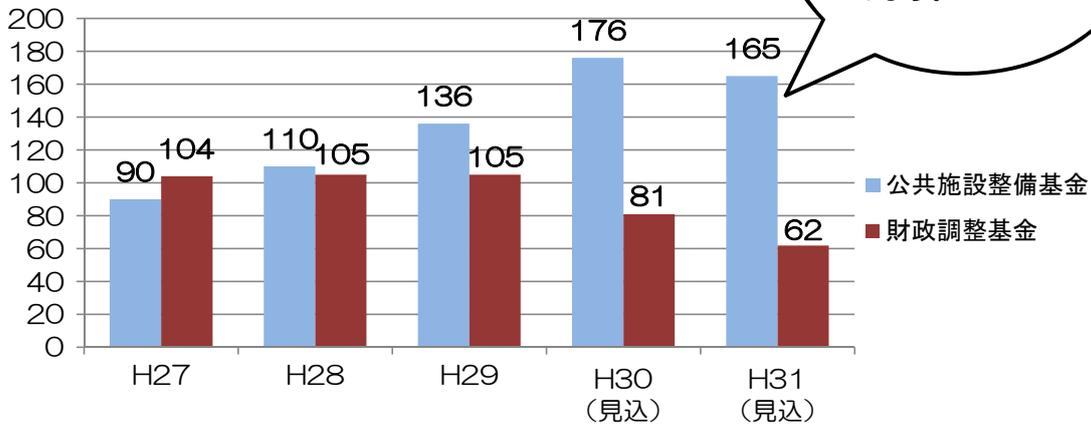
■平成31年度末見込み（単位：億円）※運用基金は除く



公共施設整備基金は、老朽化した公共施設の改修や更新に伴う財政負担に備えるためのものです。一方、**財政調整基金**は、景気の変動や国の制度改革による収入の減少、災害などの突如の支出に備えるためのものです。

■公共施設整備基金・財政調整基金残高の推移

(単位：億円)



平成31年度は、文化施設の修繕や教育福祉会館の耐震改修などに充当します。

■市民1人当たりの債務と貯金

平成31年度末の見込額を平成31年3月1日現在の常住人口425,396人で割ると…



市民1人当たりの債務残高は
約36万2,000円



市民1人当たりの基金残高は
約7万5,000円

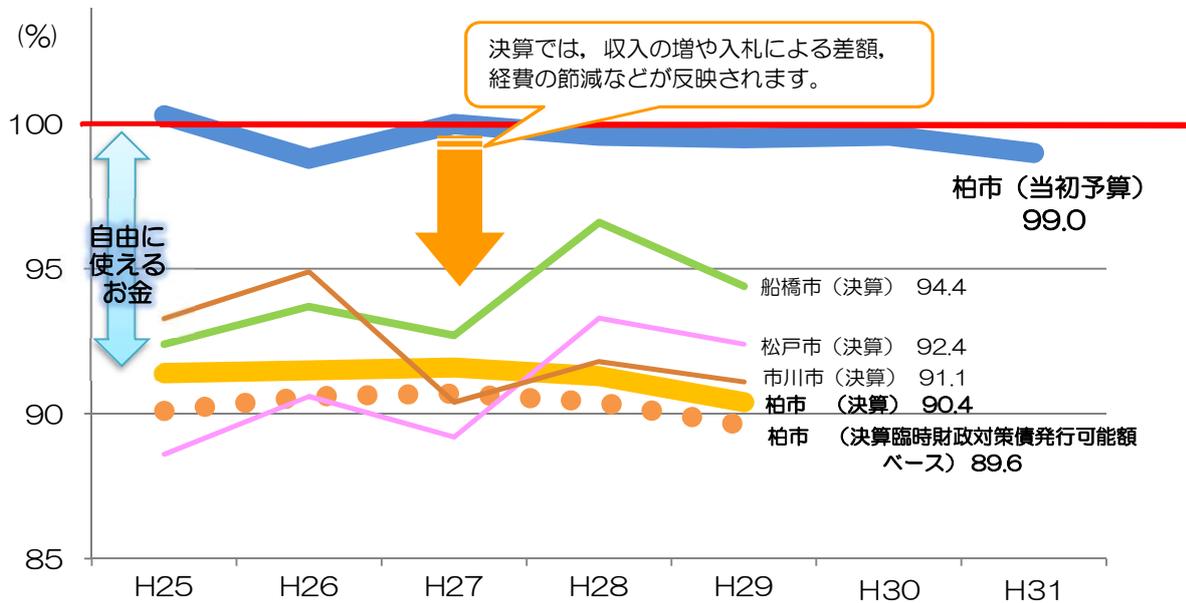
資料⑤ 各種財政指標の推移（普通会計※ベース）

■ 経常収支比率の推移

「経常収支比率」は、財政の硬直化を示す指標ですが、見方を変えると「自由に使えるお金がどれくらいあるか」を示す指標になり、財政の余力（ゆとり）を測ることができます。

比率は、市税など毎年度決まって収入されるお金が、人件費、公債費、扶助費などの必ず支払わなければならない経費にどれくらい使われているかを示していて、数値が低いほど財政に余裕があるというものです。

近年は、市税収入が横ばいの中、扶助費などが増加しているため、当初予算では経常収支比率が100%前後で推移しています。そのため、基金（貯金）の取崩しを見込んで予算を編成しています。一方、決算では、経費の節約などにより基金を取り崩さないよう運営していきます。



★ 数値について…

一般的に市では70～80%程度が望ましいと考えられていて、80%を超えると財政に余裕がないと言われています。自由に使えるお金が少ないと、社会情勢の変化や市民のニーズに対してすぐに対応できないため、「財政に弾力性がない」とか「財政が硬直化している」といいます。

★ 家計に例えると

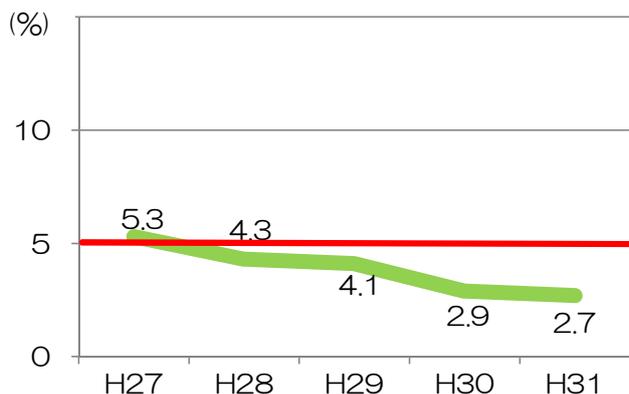
給料に占める食費やローン返済額の割合のようなもので、比率が低ければ自由に使えるお金が多くなるというものです。比率が100%を超えるということは、食費などの決まった支払いだけで給料がすべて出ていってしまい、貯金や借金に頼らないと家計が成り立たないことを表します。

※普通会計とは、他市との比較に使う会計です。柏市の普通会計は、一般会計に特別会計のうち公共用地取得事業、北柏駅北口土地区画整理事業、学校給食センター事業、母子父子寡婦福祉資金事業の4つの会計を合わせたものです。

■実質公債費比率の推移

「実質公債費比率」は、借金の返済額が身の丈にあったものかどうかを判断する基準です。1年間の収入に対してその年の借金返済額がどれくらいの割合になるのか、借金返済の負担が大きすぎないかチェックするものです。

この割合が25%を超えるとイエローカードですが、柏市では基準値を5%に定めて、それを下回るように行財政運営を行います。



※平成29年度までは決算，平成30年度からは予算上の数値です。

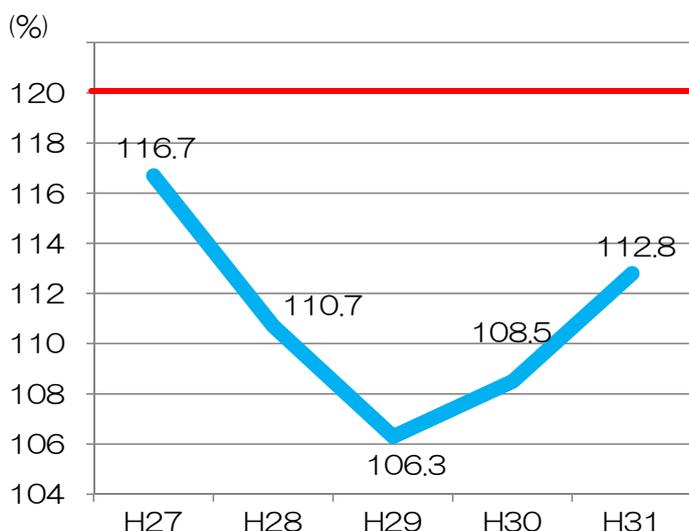
★ 家計に例えると

家や車のローン，クレジットカードで買い物をした支払いなどの返済額が，年収の25%以上となった場合は，借金返済の可能性が高いということで危険信号です。

■市債残高比率の推移

「市債残高比率」は、借金の残高（貯金で返済可能な額を除く）が1年間の収入に対してどれくらいあるかを示す指標です。借金の大きさをわかりやすくお伝えするため、柏市が独自に設定したものです。

柏市では借金の残高を増やさないことを基本としていることから、今後も現状の水準を維持していくため、基準値を120%に定めて、行財政運営を行っています。



※平成29年度までは決算，平成30年度からは予算上の数値です。

比率が120%の場合，貯金で返せる分を除いた借金の総額が，市税など通常見込まれる1年間の収入の1.2倍あることとなります。



柏市のわかりやすい予算 平成31年度版

発行年月 平成31年3月

発行 行 柏市

お問い合わせ先 柏市 財政部 財政課

〒277-8505 千葉県柏市柏五丁目10番1号

電話 04-7167-1120

FAX 04-7167-1210